

第467号 8月号 2023.8.21

岐阜県 商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市薮田南 5-14-53 TEL: 058-277-1107



商店街に来ていただききっかけづくり 「ソンクラーあつうカワコッち」

◆主催：多治見市商店街連合会

2023年7月30日（日）、多治見市のながせ商店街で暑い夏を乗り切るイベント「ソンクラーあつうカワコッち」が開催されました。同日には、多治見市内3つの商店街で七夕飾りが頭上を彩りました。当日は、大勢の人たちがいつもと違う商店街の雰囲気を楽しんでいらっしゃいました。「ソンクラーあつうカワコッち」について、たじみDMOの松井侑樹さんと田平沙織さんにお話を伺いました。



▲水鉄砲などで遊ぶ子どもたち

■ 「ソンクラーあつうカワコッち」とは

「ソンクラーあつうカワコッち」は、4月に開催された「フィエスタ de la カワコッち」に続く、「カワコッち」イベントの第二弾です。「多治見市は、全国有数の暑い街として有名です。そんな多治見市の暑い夏を乗り越え、商店街を盛り上げよう」というイベントです。イベント名にある“ソンクラー”とは、この辺りの方言

の“そのくらい”という意味も含まれています。」タイ全土で開催されている「水かけ祭り＝ソンクラーン」をイメージして企画されたそうです。

「イベントの準備は、2ヶ月ほど前から商店街メンバーを中心とした実行委員で行いました。春のイベントに続き、今回も初めて開催する内容だったので、1から企画をしました。企画が固まってきた際に、多治見市内の商店街の方にお話したところ、みなさんおもしろそうだねと賛同して下さいました。」多治見市の商店街が一つになったイベントです。



▲商店街で打ち水をする様子

■ 小さなお子さんを中心に大盛況となった当日

天気にも恵まれたイベント当日の様子について田平さんに伺いました。「未就学児から小学校低学年の子を中心に、150人程が集まりました。水鉄砲を使って水遊びをしたり、実行委員がホースでまいた水を浴びたりし、子どもたちは

びしょ濡れになりながらも大変楽しそうでした。」イベントの開始時刻前から商店街に来ていたり、このイベントを目的として商店街に来てくださったりした方もいたそうです。

「びしょびしょタイム」というゲームも行いました。参加者は腕に、濡れると色が変わるワッペンをつけます。色が変わった部分が少ない子が勝ちというものです。また、商店街メンバーに地元消防団の方がおり、当日消防車からの放水を行ったり、子どもたちに放水を体験してもらったりしました。普段の生活ではできない体験に子どもたちはとても嬉しそうでした。」



▲消防車の放水を浴びはしゃぐ子どもたち

■ 商店街のみなさんの想いと協力

商店街でハンドメイド商品の販売やカフェを営むメンバーが、フィンランド発祥の木製の棒を投げて、ボウリングのように木製のピンを倒して競い合う「モルック」の企画を提案し、イベ

ント当日は、モルックの試合が行われました。その際の優勝賞品や参加賞は、多治見市内の3つの商店街の方の協賛品です。参加者は、商店街の店舗名と商品が書かれた紙をくじとして引き、後日、商店街のお店を訪れます。「イベントの翌日に、早速お店に来てくれたという商店街の方からの嬉しい反応がありました。この仕組みは商店街のお店を知っていただききっかけにもなるかと思います。」

■ 商店街の今後の活動について

「今年度からの新名称である“カワコッチ”を使って、春と夏にイベントが開催できることは大きな成果です。また、秋や冬に向けてその時期にあった商店街を盛り上げるイベントが企画できればと思っています。」多治見市内の商店街が協力し合って、中心市街地の活性化を行っていると感じました。



▲モルックの試合の様子

商店街に活気を！まちなか歩いてクイズラリー 本町2丁目歩行者天国 “商店街が○○になる日”

◆主催：飛騨高山サマーフェスティバル推進協議会・高山本町会商店街振興組合

2023年7月8日(土)、高山市商店街で、商店街を盛り上げる2つのイベント「まちなか歩いてクイズラリー」と「本町2丁目歩行者天国 “商店街が○○になる日”」が開催されました。イベント当日はあいにくの雨でしたが、両イベントとも大勢の人で賑わいました。

■ 「まちなか歩いてクイズラリー」とは

「まちなか歩いてクイズラリー」実行委員長の長尾和哉さんにお話を伺いました。「本イベントは、子どもたちや市民にとって商店街をより親しみやすいところにするため、高山市にある9つの商店街を巡り、9問のクイズに答え、3つの



▲クイズラリーのポイントでスタンプを押してもらう子どもたち

ポイントを周るスタンプラリー形式のイベントです。」雨の中でしたが、大勢の親子連れで賑わっていました。「コロナ禍では、イベントを縮小しましたが、今回はこれまで同様1,000人以上の市民に参加いただきました。」ゴール後の抽選で、景品が当たり喜んでいる子どもたちや、参加賞のお菓子を嬉しそうに持つ子どもたちの姿が印象的でした。



▲お菓子や花火をもらい嬉しそうな参加者

■ 商店街や街の協力で成り立つ「まちなか歩いてクイズラリー」

「本イベントは、高山市の補助金と9つの商店街からの協賛金、市内企業、団体からの賛同で成り立っています。当日のスタッフもほとんどが商店街の人です。9つの商店街が力を合わせて開催しています。」市内商店街が想いを1つに協力し合っているイベントです。「元々このイベン

トは、商店街の魅力発信と人々の回遊を目的に、商工会議所の職員の方が提案して下さいました。今では、商店街、商工会議所、高山市、まちづくり会社が協力して開催しています。子どもたちや市民の方の嬉しそうな様子を見ると、企画してよかったです。」

■ 「本町2丁目歩行者天国 “商店街が〇〇になる日”」とは

「本町2丁目歩行者天国 “商店街が〇〇になる日”」は、本町2丁目商店街の青年部によって企画され、初めて開催されたイベントです。本町2丁目商店街青年部の今川貴允さんにお話を伺いました。「本イベントは、商店街にぎわいを取り戻すために企画しました。当日は、本町2丁目商店街が歩行者天国になりました。道路をキャンバスに見立て、チョークで自由に落書きできるエリアを設けたり、商店街の楽器店がピアノを提供し、ストリートピアノ演奏ができたりする場所を設けました。」普段の生活ではできないことばかりで、大勢の子どもたちが楽しそうに遊んでいました。「本イベントを開催するにあたって、本町2丁目商店街の青年部で話し合ってきました。イベント名を考える際に、“商店街が〇〇になる日”のまるの中に何を入れるか迷いましたが、そのままにしてこのイベントが広がりを持てるようにしました。今回は、“商店街が子どもの遊び場になる日”ですね。」

■ 「本町2丁目歩行者天国 “商店街が〇〇になる日”」に込めた想い

「イベントの名前を“商店街が〇〇になる日”にしたことでイベントの可能性が広がりました。これから、定期的に歩行者天国が開催され、本町2丁目商店街が市民の方の憩いの場になることが願いです。」本町2丁目商店街が何になるのか楽しみです。

■ 今後の展望

今後の商店街への想いを長尾さんにお話いた



▲道路にチョークで楽しそうな絵を描く子どもたち

だきました。「今年は本町2丁目さんに歩行者天国を開催していただきました。来年以降も市内商店街にクイズラリーとタイアップしてイベントなどを開催いただき、商店街全体が活気にあふれる一日にできたらいいなと思います。」

両イベントとも、商店街を活気あふれるとこにしたいという気持ちが伝わりました。こういった取り組みによって、ますます商店街が街の人にとってなくてはならない場所になると感じました。



▲ストリートピアノを楽しむ親子

中心市街地にオープン 「中津川市ひと・まちテラス」

◆中津川市ひと・まちテラス

2023年7月15日(土)、中津川市新町の中心市街地に複合施設「中津川市ひと・まちテラス」がオープンしました。7月15日には、完成式が行われ、中津川市長をはじめ、国会議員や県議会議員などが式典に参加しました。中心市街地に建てられた施設である本施設について、今後の商店街との関わりなども含めて、中津川商店街連盟・会長の原 利浩さんにお話を伺いました。

■ 「中津川市ひと・まちテラス」とは

「中津川市ひと・まちテラスとは、子育て支援、市民交流、図書館を通しての学び、観光の4つの機能をひとつに集めた3階建ての複合施設です。ひと、まち、未来を元気にする交流と学びとにぎわいの拠点を目指すための施設です。」図書館や、カフェ、貸室もあり、本施設は様々なことに活用できます。



▲完成式典でapeカットを行う関係者

入口には、可愛らしいロゴがデザインされた看板があります。「このロゴは、中津川市出身の絵本作家である、村上康成さんがデザインしたもので。恵那山と、カワセミ、そしてうねる雲海や川とも見えるラインは、中津川市の自然を表しています。」式典当日は、村上康成さん、中津川市長、フリーアナウンサーの草野満代さんと

記念鼎談が行われ、中津川市の魅力について語られました。



▲中津川市ひと・まちテラス ロゴ

■ オープンに合わせた商店街の取り組み

「中津川市ひと・まちテラスのオープンに合わせて、商店街でもできることを考えました。オープン記念として商店街のセールを、7月15日から次回の六斎市の開催日である8月6日まで開催することにしました。42店舗に賛同いただき、大々的に商店街のセールを行うことになりました。」中津川市ひと・まちテラスのオープンに合わせて、商店街が注目を浴びるチャンスを活かした取り組みです。「また、最終日である六斎市の日には、中津川市ひと・まちテラスの中で、ガラガラ抽選会を開催します。多くの方に商店街を利用していただくきっかけになればと考えています。」

■ 商店街と「中津川市ひと・まちテラス」の関わりについて

◆ 令和5年度予算「地域商業機能複合化推進事業(地域の持続的発展のための中小商業者等の機能活性化事業)」の三次募集を開始

※本公募は、商店街等組織又は民間事業者(間接補助事業者)への補助金(間接補助金)の交付を行う地方公共団体を公募するものです。商



▲オープニングで披露された地歌舞伎

「中津川市ひと・まちテラスの完成により、中心市街地に子どもからお年寄りまで多くの方が来て下さると思います。そういった人の流れをうまく利用して、商店街の更なる活性化につなげたいです。また、ひと・まちテラス内のイベント室などを活用しながら、今後、イベントなどもできればと考えています。」行政と一緒に、協力して商店街を盛り上げる、中津川商店街連盟の今後の活動が楽しみです。



▲施設内を見学する中津川市民

【取材・記事 中小企業診断士 山口仁美】

店街等組織又は民間事業者の方が応募される場合は、所在地の都道府県又は市区町村へお問い合わせください。

事業概要

本事業は、地域のニーズや新たな需要に対応しようとする取組等を後押しし、商店街等の多様な機能の活性化と地域の持続的発展を促進することを目的としています。

商店街等組織又は民間事業者が、商店街等において、来街者の消費動向等の調査分析や新たな需要の創出につながる魅力的な機能の導入等を行い、最適なテナントミックスの実現に向けた仕組みづくり等に取り組む場合、その事業に要する経費の一部を地方公共団体とともに補助します。

補助対象事業者

地方公共団体(都道府県及び市町村(特別区を含む))

間接補助事業の概要

1. 間接補助事業者

商店街等組織又は民間事業者

※詳しくは以下の募集要領をご覧ください。

2. 間接補助事業の内容

①消費動向等分析・テナントミックス構築事業 (ソフト事業)

商店街等において、空き店舗等を活用した創業支援等の実施とともに、顧客の属性・消費動向等を調査分析し、最適なテナントミックスの実現に向けた仕組みづくり等を行うことで、地域のニーズや新たな需要に対応し、商店街等の多様な機能の活性化と地域の持続的発展に繋がる事業。

②商店街等新機能導入促進事業(ハード事業)

商店街等において、商店街等にない新たな機能の導入に係る施設整備等を行い、顧客の属性・消費動向や商店街等のエリアへの波及効果等を調査分析するとともに、最適なテナントミックスの実現に向けた仕組みづくり等を

行うことで、地域のニーズや新たな需要に対応し、商店街等の多様な機能の活性化と地域の持続的発展に繋がる事業。

補助率・補助額

①消費動向等分析・テナントミックス構築事業 (ソフト事業)

地方公共団体が間接補助事業者に交付する額の4／5以内、上限額400万円

②商店街等新機能導入促進事業(ハード事業)

地方公共団体が間接補助事業者に交付する額の2／3以内、上限額4,000万円

※地方公共団体の補助率等は、所在地の都道府県又は市区町村にお問い合わせください。

募集期間

募集開始日：令和5年7月14日(金曜日)

締切日：令和5年8月31日(木曜日)

15時必着

※経済産業省では、補助金申請手続のワンストップ化と完全電子化を推進していますので、応募書類は原則として、補助金電子申請システム「j Grants」を利用して提出してください。

募集要領等

募集要領等は、中小企業庁のホームページよりダウンロードしてください。

本件のお問い合わせ先

中部経済産業局

流通・サービス産業課 商業振興室

TEL: 052-951-0597

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。